

北秋田市清鷹小 作業も体験、学び発表 **「田んぼアート米」試食**



田んぼアートで収穫した「あきたこまち」を味わう清鷹小の児童

秋田内陸線沿線で行われた「田んぼアート」の田んぼで収穫したコメの試食会が、北秋田市の清鷹小学校で行われた。田植えと収穫作業に参加した児童18人が炊きたての新米を味わったほか、作業を通じて学んだ内容を発表し合った。



田んぼアートは、乗客に車窓からの風景を楽しんでもらおうと、秋田内陸地域公共交通連携協議会などが企画。清鷹小は毎年、学区内の縄文小ヶ田駅前の田んぼで、5年生の児童が田植えと

稲刈りに参加している。

5日に行われた試食会で、児童たちは稲刈りの感想を語ったり、伊勢堂岱遺跡について調べた成果を披露したりした。炊飯器のふたを開けると白い湯気が立ち上り、「おいしそう」「おかわりしたい」と盛り上がりながら、炊きたてのご飯をよそった。「いただきます」と声をそろえた後、作業の思い出を語り合いながら味わった。

佐藤鷲允さん(11)は「自分たちで作ったお米だからか、普段よりももちもちしておいしく感じた。田植えと稲刈りの作業は疲れたけれど、活動を通じて地域の魅力を知ることができた」と話した。(石塚佳治)

(令和6年12月21日(土)秋田魁新聞より一部抜粋)